

ひらの図書館報告会

○日時：R6年3月7日（木） 13：00～

○開催内容：

1. 事業の概要（四国大学杉山先生）
2. 学生からの報告（四国大学学生尾田様・柏木様）
3. ひらの図書館からの報告（那賀町地域おこし協力隊藤本様）
4. 参加者からのご感想
5. 今後の予定

県南地域づくり キャンパス事業報告会

令和6年3月7日（木）

@zoomオンライン

四国大学文学部日本文学科 杉山悦子

目次

1. 県南地域づくりキャンパス事業の目的
2. 学生活動の位置づけ
3. 活動の実際と気付き
4. まとめにかえて…地域創生”における私立図書館の意義

県南地域づくりキャンパス事業の目的（徳島県HPより）

事業主体：「四国の右下」若者創生協議会

「地域資源」を
どう捉えるか

■「県南地域づくりキャンパス」事業の目的

- 課題解決型のフィールドワークを受け入れることによって、大学生等と地域の交流によるにぎわい創出や関係する人口の拡大。
- 県内外の大学・高等専門学校等を対象に、若者ならではの発想や学生の持つ専門的な知見を活かしたフィールドワークを実施することにより、地域資源の掘り起こしや地域課題解決策の提案につなげる
- 事業を契機として、学生と地域の交流を深め、事業を通じて育まれた地域への愛着により、今後も地域と関わりを持つ「四国の右下ファン」への転換を図る。

学生活動の位置づけ

事業によって得られること（藤本様からのご提案）

- ・今後の地域交流拠点のあり方を模索できる。
- ・次年度以降、『同業種交流会』を構想中。学生(就活前後)らと交流イメージを持ちたい。(次年度以降はキャンパス事業にて、一緒に企画運営をしてほしい。)
- ・「ただのボランティア」等ではなく、学生らも何かしらスキル等を得る機会を創出した事業の在り方を考えたい。

地域おこし協力隊×図書館

ひらの
図書館

地域

学生

- ・ひらの図書館来室へのきっかけができる。
- ・若者の視点により、ひらの図書館(木造・廃校舎)の魅力を再発見できる。
- ・今後の平野図書館への利用イメージができる。

- ・マーケティング力の醸成
- ・地域内外への広報探求力の向上
- ・イベント企画、実行、運営力、チームワーク等の構築

地域おこし協力隊×図書室

宮崎県椎葉村



募集内容・活動概要

当町では、地域・学校図書館・公共図書館が連携し、子どもたちの「知る」と地域」をつなぐ図書館コーディネーターとして活動する方を募集します。

群馬県甘楽町

<活動内容>

- (1) 学習支援と地域コミュニケーション
- (2) 公共図書館・学校図書館支援に関する業務
- (3) 本の紹介や図書館・読書の魅力PR
- (4) 甘楽町郷土資料の収集・デジタル化
- (5) 地域イベント・コミュニティ・居場所づくり

報酬・勤務時間・任用期間・待遇

<報酬等>

○月額200,000円（その他、賞与、時間外手当、退職手当等は支給しません）

<勤務時間>

活動の実際と気付き

活動の経過

10月5日 四国大学社会連携推進課経由での打診

那賀町で「地域交流拠点 ひらの図書館でのイベント（別添参照）」を一緒に実施できる大学の募集

- ・ひらの図書館の広報（インスタ、HP、のぼり等）やイベント企画等
- ・学生6～10人程度の学生の参加
- ・学生目線での実施

時間がない、できること・できないこと…etc

10月31日 ひらの図書館藤本様と打ち合わせ（オンライン）

11月1日～ 学生グループが廃校図書館活用の情報収集と資料調査
（先行事例の神山町旧広野小学校「ほんのひろば」を訪問調査）

授業にバイト…
全員の都合が合わない

12月2日 ひらの図書館訪問

12月22日 ボードゲーム体験会（@四国大学）

2月16日 打ち合わせ（オンライン）

2月22日 打ち合わせ（オンライン）

交流とは
行くだけではない！

短い期間で交流が深まったのはなぜ？

遠隔地域と学生とのSNSによる交流活動

■SNS（LINEを使用）

➔地域×学生×大学がフラットに相談し合えるプラットフォーム

〈メリット〉

- 学生が提案しやすい
- スピード性
- ✓メールは敷居が高い、タイムラグ

✓広報という支援

➔足を運べない地域支援のあり方

- 個人アカウント使用の課題



【アイコンについて】

（案1）アイコンをひらのとしよつ（小学校）の写真にする

（案2）応援団や本など関連のあるイラストを使ったものにする

で悩んでいます。

一般的には（案1）の方なのかなと思っていたのですが写真アイコンだとひらの小学校として藤本さんが持っているアカウントと

（案2）だとアイコンが分かりやすいのかなと思いつつイラストやデザインのクオリティが低いと非公式な感じ、情報の信憑性

加えてその他案ありましたらこちらもご提案頂きたいです！

2023.12.4



藤本雪絵

おはようございます！

@h

ご相談ありがとうございます！

案1×2はいかがでしょうか？

既存アカウントと同様の背景に

（また、共有します。）

下半分を無地に「テニトル」(or事業名？「交流会」)

○公式感

→既存アカウントと同様とすることで、公式感UP

フラットな会話から
生まれるアイデア

居場所としての図書室の創出

① 図書室の持つ機能

- ・ サードプレイス（家庭と職場の中間）
- ・ レジリエンス（自己回復）力

→ **居心地のいい場所**

= いつでも行けて、安心して過ごせる“場”
不安や悩みをもつ若者は“居場所”を求めている

小中学高校の図書室

- ・ 教室でも保健室でもない
- ・ 親でも先生でもない大人（司書）の見守り
- ・ 1人でもよし、会話もよし

② 図書室×ボードゲーム = **個×集団**

→ 1人でもよい、誰かとしゃべってもよい

③ ひらの図書室の地域的意義

- ・ 学校の図書室が媒介する地域コミュニティの絆
- ・ 年長者から若者まで 共通体験を持つ“**学校**”

図書室に愛着を
もつ若者たち



学校に愛着をもつ
地域住民たち

“地域創生”における私立図書館の意義

■ 図書室を地域の「資源」と捉える

→ 図書室はモノ（設備）×コト（活動）×ヒト（人）があって初めて機能（成立）する

「行ってみたい」 → 「また来たい」と思える図書室

図書室を媒介として人間関係を築く地域創生

経済的利潤から社会関係資本へ


地域インフラとしてどう支えていくか

ご清聴ありがとうございました

藤本様、那賀町の皆様との出会いから多くを学びました。
ありがとうございました。

学内の各部署の職員の皆様（菱井様、土井内様、岩木様）
お世話になりました。

引き続き学生からの報告を
お聞きください



那賀町ひらの図書館 プロジェクト学生報告

-ひらの図書館×四国大学「ぼくらの図書館」テニトル-

はじめに

事業内容



実施スケジュール



テニトル活動





事業内容 ▶ 実施スケジュール ▶ テニトル活動

那賀町の地域交流拠点「**ひらの図書室**」の
利用促進・魅力向上のため、教室デザインや SNS での
広報イベント実施を通じて、地域内外へ「ひらの図書室」の
魅力を発信するとともに、働き世代をターゲットにした
「**おとなの図書室**」を構築し、新たな利用層の獲得を目指します。

事業内容

▶ 実施スケジュール

▶ テニトル活動

10月末

イベント「ひらの図書館」那賀町地域おこし協力隊
藤本雪絵と打合せ(オンライン)

11月末

情報収集・資料調査・訪問調査

12月初旬 - 2月初旬

事前見学・SNS広報活動・打合せ

2月中旬

最終確認

2月23日(金)

ひらの図書館イベント開催

事業内容 ▶ 実施スケジュール ▶ テニトル活動

徳島市立図書館でのイベント

ボードゲーム「横暴編集長」と学生との交流会

既存の本のタイトルを組み合わせ
オリジナルのタイトルを作るゲーム

進学や進路について質問・話す機会を作る

→ 中高生と大学生の交流の場に



事業内容 ▶ 実施スケジュール ▶ テニトル活動

附属図書館謎解きイベント

四国大学文化祭で謎解きイベント

プロデューズ:人間生活科学科の佐々木菜穂さん

学内・学外問わず多くの方が参加

敷居が高い印象の大学図書館

→親しみを持ってもらえるように



他：四国大学附属図書館での企画展示等

目次

01

神山見学

02

事前見学

03

イベント当日

04

まとめ

01

神山見学

コーヒーとほんのひろば



11月24日 コーヒーとほんのひろば見学



コーヒーとほんのひろば

徳島県名西郡神山町神領字中津132

- ・ 自習スペース & コーヒー提供有り
- ・ 珈琲屋さんで本の返却が可能
- ・ 職員と利用者のコミュニケーション
- ・ Wi-Fiやコンセント完備

あたたかな雰囲気であっと一息つける場所

→ ひらの図書室へ

02

事前見学



12月2日 ひらの図書室訪問



建物

- ・ 廃校ならではの建築物としてのすばらしさ
- ・ 内装外装ともにレトロな雰囲気
- ・ 木のぬくもりが感じられる



12月2日 ひらの図書館訪問



図書館

- ・ 黒板、ストーブ等懐かしい光景
- ・ 黒板のイラストは季節変わり
- ・ 寄贈された本やぬいぐるみがたくさん



12月2日 ひらの図書館訪問

図書館

- ・小さな子から大人まで楽しめる本
- ・床で読めるスペース完備
- ・教室後方にはやりたいこと付箋
- ・セルフカフェスペースあり

那賀町の郷土や歴史に関する資料も多くある



企画用SNS・Instagram開設



ひらのとしよしつ応援団

@hiranocampus

ひらの図書館の空間
としての良さを広める

→ 図書館のイメージが伝わる
動画を作成



打合せ + ボードゲーム検討

当日参加予定のスタッフで打合せ

- ・ 午前に使用するボードゲームを検討
(初心者でも出来る / 自己紹介を含む)
- ・ ボードゲームを用いる理由
→ 午後のディスカッションに向けた
交流を促進するため
- ・ 事前にやってみて
ルールの理解に時間がかかる
会話が少なくなる・難しいと感じる点の確認

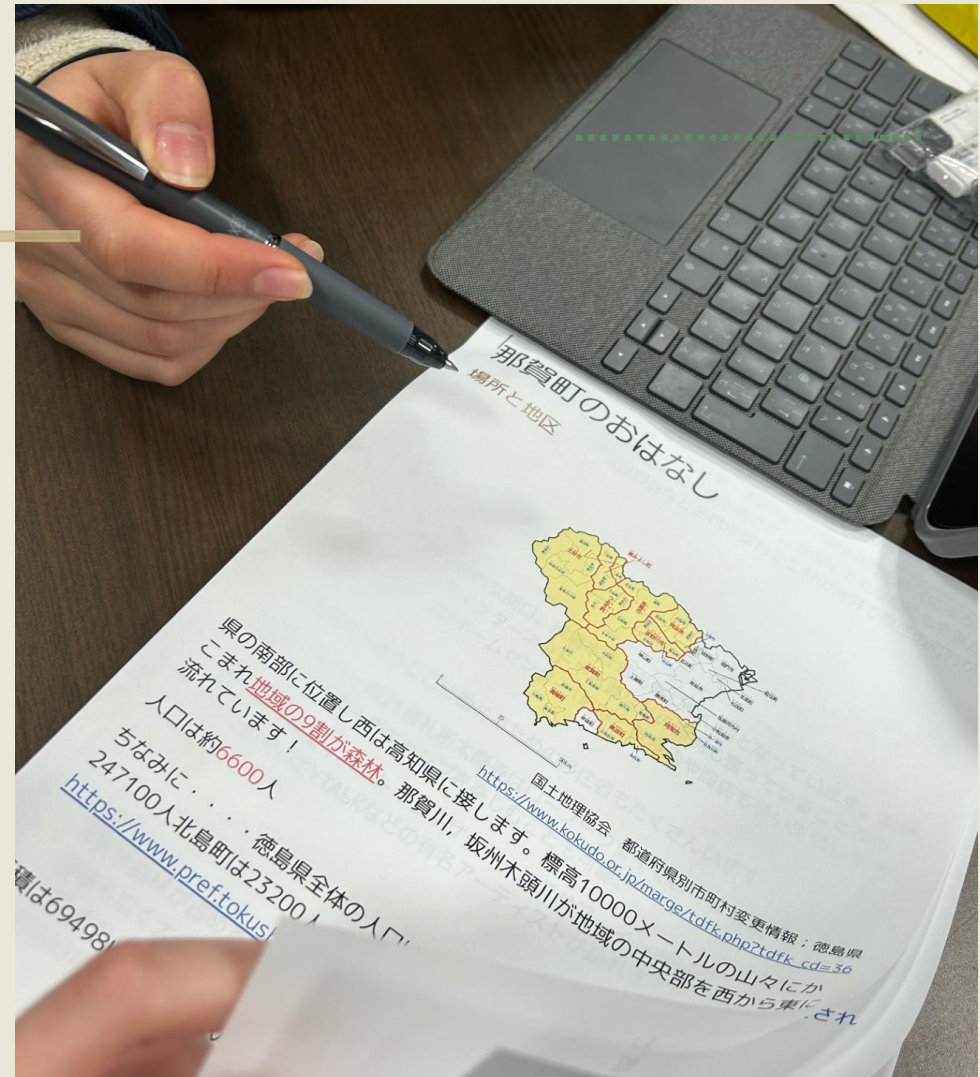


→ 当日の進行に活かす

ひらの図書館へ資料を提供

那賀町・地方創生に関する調査

情報をまとめた資料を作成



03

イベント当日



2月23日 イベント開催日



当日のスケジュール

10:30~12:00 自己紹介
+ ボードゲーム

- 昼休憩 -

13:00~15:00 那賀町会議
スキル×スキル

意見発表+投票

午前の部 自己紹介・ボードゲーム



使用したボードゲーム

「佐藤です。好きなおにぎりの具は梅です。」
「かたろーぐ」

最初：初対面の所が多いため緊張感が漂う

ボードゲームを通じた交流

どのグループもにぎやかな雰囲気

昼休憩 昼食のお弁当



- ・ 那賀町のお弁当
その地域ならではの昼食

- ・ 阿波晩茶
自由に飲めてあたたまる

休憩中も話し声は絶えない
賑やかな雰囲気での昼休憩に

午後の部 スキル×スキルで那賀町会議



- 1.各人のスキルを組み合わせせてイベントを考案
- 2.考案したイベントと那賀町を掛け合わせる

学生

学生ならではの学びを活かした提案



参加者

普段の活動や趣味を生かした提案



スキルと那賀町という場を活かした企画

午後の部 話し合った結果を発表



プレゼンの様子



最後に企画案をプレゼン

企画案のTOP3を発表

各グループの色が出た結果に

発表が終わったあとは投票

グランプリと特別賞が決まる



プレゼンの様子



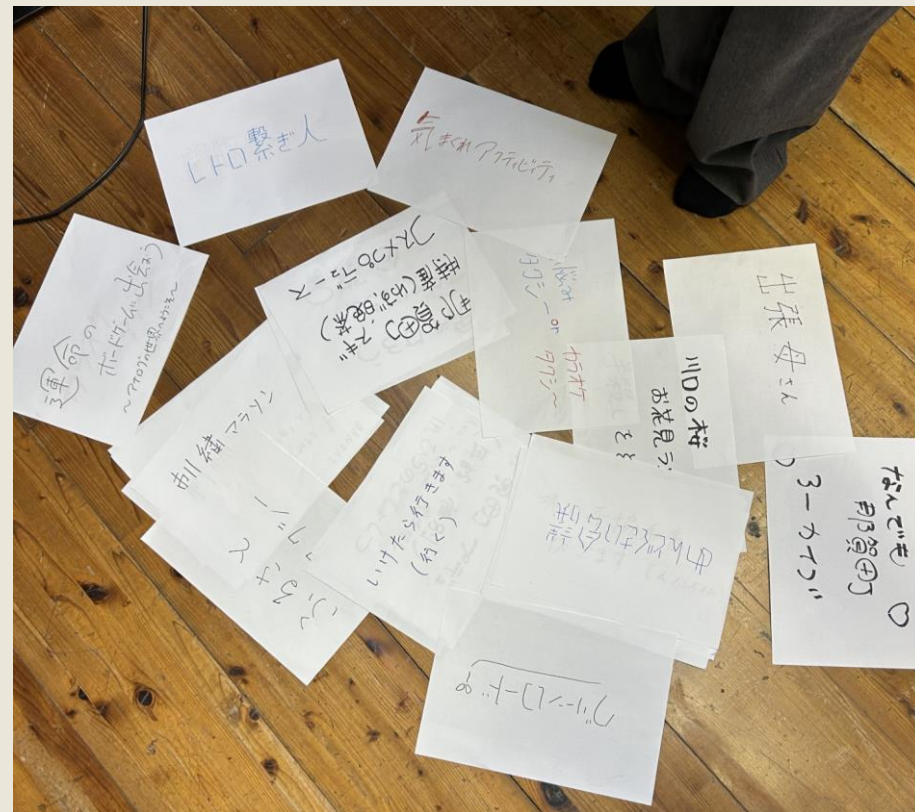
午後の部 話し合った結果を発表

各グループで出た企画案の一部

当日

常に図書室内が交流の場に

- 普段の活動や趣味の話
- 新たな視点やアイデア
- 便利なアイテムや、アプリの共有



04

まとめ



イベントを振り返って

① 午前の進行面

事前に行っていたボードゲーム

→ スムーズな進行



体験できていない学生

→ 進行に不安



学生は参加者でなく進行役

イベントを振り返って

① 午前の進行面

全員にしっかりと共有 情報だけでなく体験込みで



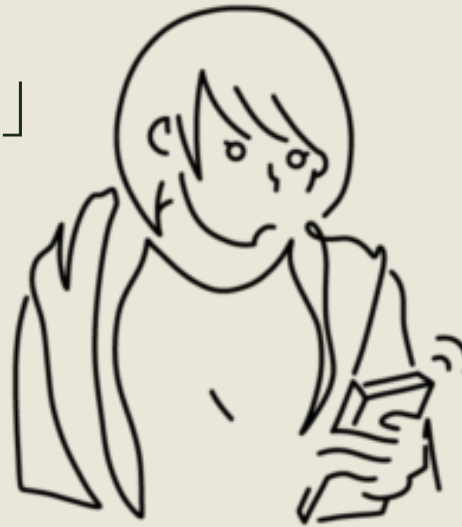
→ よりスムーズな進行

イベントを振り返って

② SNS の運営

投稿内容・頻度・目的を再度検討

「重視する点はどこか」



「この先どうしていくか」

→更新を頻繁に行うことが出来なかった

イベントを振り返って

③ コミュニケーション

学生から積極的に会話できるように



→参加者の方のコミュニケーションスキルに助けられた場面があった

イベントを振り返って

③ コミュニケーション

午前は平気でも

ディスカッションで会話に詰まる

→ 那賀町についての理解をさらに深める

→ 対面で話し合う機会を増やす

自信をもって会話に参加できるように



イベントを振り返って

全体：情報伝達の難しさ

イベント日が近づく

決定事項と確認事項の増加

→ 何が決まっていて
何が分からないのか
状態なのか不明瞭



→ 学生間で認識の
違いによる混乱
→ 情報の取りこぼし

イベントを振り返って

04

全体：情報伝達の難しさ

学生全員が必要な情報を把握しておく

情報を分かりやすく
まとめる



→ 決定事項の確認を念入りに行う

ま

と

め

イベントを振り返って

たくさんのアイデアと学びが生まれたイベント



那賀町を知るきっかけ

交流の場

異なる年齢層、異なる場所ならではの意見



ご清聴ありがとうございました